

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年3月23日 NO.36

「見守り会への感謝状授与式」が行われました。ありがとうございました！

3月19日（木）体育館にて、国立七小見守り会の皆様の日々の努力が認められ、国立市長佐藤一夫様より「感謝状」が贈られました。この日は、見守り会の方々が40数名も参加していただきました。また、国立市からは、佐藤市長はじめ、是松教育長、宮崎教育次長、川島総務課長、金子指導支援課長、荒西指導主事の皆様もご来校いただきました。

安心・安全の街づくりを提唱している国立市の中で、これほどまで多くの地域の方々が児童の安全のために日々尽力していることは、大変稀なことであり、広く顕彰し高く讃える価値があるということで、今回、感謝状が授与されることになりました。

いままでは、それぞれの家庭で「行ってきます！」と言ってから、無言で学校まで来ていた子供達も見守り会の方々に会い挨拶する事により、朝の出発が気持ちよくできるようになりました。また、子供達にとって、「地域」とは漠然としたものではありませんが、「あのおじさんは見守り会の人だ。あのおばちゃん知っている。」ということが安心・安全に通じるという事で「地域」というものが、とても大切であると実感していることでしょう。

授与式の後に学校会議室にて、佐藤市長・是松教育長を囲み短い時間ではありましたが、懇談会を行うことができました。ご参会頂き重ねて御礼申し上げます。今後も国立七小地域の安全のために、見守り会の方々のご健康とご活躍を心より祈念いたします。



「落語鑑賞会」が行われました。（27年度もお招きし継続的に実施する予定です！）

3月13日（金）体育館にて、セミプロの落語家さんりゅうていはしゅうの今柳亭波舟様（本名：齊藤潤司様）をお招きし、本物の落語を体験することができました。これは本校で現在行っている国語科を中心とした「話す・聞く」の言語活動教育の一貫として実施しているものです。子供たちにとって本物に触れることにより「話し方」のよい学習になりました。以下、5-2学級だよりを転載します。



先週の金曜日に落語鑑賞がありました。ほとんどの子どもが初めてだと言っていた落語ですが、話が始めるとみんな大笑い。国語で話し方の勉強をしていますが、実際に落語を聞くことで今まで学習してきた「話し方を工夫する」とはどういうことなのかを感じられたようでした。この貴重な体験が、子どもたちの話す力に生かせるといいなと思います。

落語鑑賞の後、一言感想を聞きました。

・一人で話しているのに、誰が何をやっているのかわかなくてすごいいなと思いました。 ・道具も使わず、表情や声の出し方、話し方を変えるだけで、あんなに変わるんだと驚きました。 ・一人でやっているのに、役の一人一人に個性があっっておもしろかったです。 ・人によって言葉遣いを変えていて、人が変わると声も変わっていてすごかったです。 ・急につるの話が始まっておもしろかったです。 ・あんなおもしろい話を考えられるのはすごいいなと思いました。 ・一人であんなにたくさんの人を笑わせていたのがすごいいなと思いました。 ・どういうふうにして笑わせるか工夫しているのだろうなと思いました。 ・1月～お正月というのが、よく考えられるなあと、おもしろかったです。